

INFORMATION

東京大学ファカルティ・ディベロップメント「インタラクティブ・ティーチング」フォーラム 第1回 あらためて、シラバス

日時：3月4日(日)10時～18時

会場：東京大学駒場Iキャンパス講堂ほか(東京都目黒区)

プログラム：セッション1「あらためて、シラバス」／セッション2「テキストシラバス改善演習」／セッション3「グラフィックシラバス作成演習」／セッション4 分科会：A「大教室でもアクティブラーニングを実現させよう」(事務局企画[大人数])、B「受講者を惹き付ける問いを作ろう——ジグソー法・ピアインストラクション」(参加者企画[少人数])、C「理解者を増やそう・職場に広めよう——「現場」への展開」(参加者企画[少人数])、D「模擬授業から授業を磨こう——『アクティブに味わう短歌』を題材に」(参加者企画[少人数])

講師：栗田佳代子(東京大学)、佐藤浩章(大阪大学)、吉田壘(東京大学)、中村長史(東京大学)

対象：大学教職員、大学院生・PD、他教育課程の教職員など

定員：300名(先着順)

参加費：3000円(大学院生・PDは無料)

申込・問い合わせ先：下記サイトへ
<https://www.utokyofd.com/archives/2616/>

北海道大学 CoSTEP (科学技術コミュニケーション教育研究部門) MOOC(無料で学べるオンライン講座)「ようこそ、科学技術コミュニケーション」配信

講座配信期間：2018年3月7日(水)～4月17日(火)(4週間)

※開講中はいつでも受講可能

カリキュラム：

第1週：科学技術コミュニケーションとは

科学技術コミュニケーションとは／科学技術コミュニケーションの歴史／科学技術コミュニケーションの現在／科学教育からみる科学技術コミュニケーション

第2週：対話でつなぐ科学と社会

科学技術コミュニケーションとしての対話／対話の場を企画する／対話の場を創る／対話の実践を巡る対談

第3週：文章でつなぐ科学と社会
 科学技術コミュニケーションとしてのライティング／ライティングを企画する／インタビューという実践／文章でどう科学を伝えるか

第4週：科学と社会をつなぐ多様なメディア表現

映像というメディア／WEBというメディア／グラフィックというメディア／アートというメディア

課題内容：毎回の授業内での確認問題(80点分)と記述式レポートの最終試験(20点分)を行う

修了条件：得点率60%以上

申し込み方法：下記のホームページより受講登録をする

https://lms.gacco.org/courses/course-v1:gacco+ga097+2018_03/about

※もしくは「gacco」で検索し、トップページから「ようこそ、科学技術コミュニケーション」のバナーをクリックする

問い合わせ先：北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター(担当：奥本・重田)
contact@open-ed.hokudai.ac.jp